

大会運営規定

- 1 各チームは試合開始30分前までに集合すること。
- 2 ベンチは組合せの若番を一塁側とする。
- 3 試合中ベンチに入ることのできる人員を次の通り制限する。責任者、監督、コーチ、登録選手、マネージャー、スコアラーの計31名以内とする。
- 4 試合前のシートノックは行わない。
- 5 試合前の球場内でのフリーバッティングは認めない。トスバッティングなどは相手チームの練習に支障のない範囲で内野のファウルグラウンドで行うこと。但し、天然芝上では行わないこと。
- 6 バットリング、マスコットバットは使用しない。
- 7 試合回数は全試合トーナメント方式7回戦とし、5回以降、得点差、降雨、日没の コールドゲームを適用する。
- 8 規定のイニングを終了、または時間切れ同点の場合はタイブレイク方式を採用する。
{*タイブレイク方式}
継続打順の無死一・二塁とする。したがって、前回の最終打者を一塁走者とし、二塁走者は順次前の打者とする。
- 9 同一日における投手の投球制限に関する事項を以下のとおり定める。
 - (1)同一日に投手が投球できる投球数を100球以内とする。
 - (2)但し、投球中に100球に達した場合は、その打者が完了するか、攻守交代までとする。
 - (3)同一日に2試合行う場合、第一試合の勝者は第一試合に登板した投手の投球数を大会本部にて確認しておくこと。
- 10 指名打者制を採用する。(公認野球規則5. 11)
但し、大谷ルールは適用しない。
- 11 大会使用球は、全日本軟式野球連盟公認球M号とする。
- 12 メンバー表は4部提出し、前の試合の4回終了後、大会本部にて交換する。
- 13 打者、次打者、走者及びベースコーチは両耳つきヘルメットを、又捕手は捕手用ヘルメット・プロテクター・レグガード・ファウルカップを必ず着用すること。
- 14 上記及び金属バット、捕手用マスクはスロートガード付き公認マーク入りのものを使用すること。
- 15 出場選手及び監督、コーチはユニフォーム(背番号0番から99番までとし、監督30番、コーチ29番・28番、主将10番とする。)を着用すること。
- 16 試合は、無駄な時間を省きスピーディーに行うこと。
- 17 試合に勝ち残ったチームは、大会本部で次の日程を確認しておくこと。
- 18 本規定に定めていない事項、明確でない事項は、公益財団法人全日本軟式野球連盟の定める規定・規則による。